

こんにちは、持田有紀子です。

前回の動画では、Vガンマトレードの可能性についてお話をしてきました。

そして、今回はいよいよVガンマトレードの実際の映像をお見せします。

ではトレードの映像をどうぞ。

こんにちは、持田有紀子です。

それではこれからツールについて解説をしていきたいと思います。

はい、ここにあるのが

Vガンマトレードのツールになります。

このツールはですね、Vガンマトレード用に自ら開発をしたというか、そして、形にしたものになります。

こんな風にですね、簡単になっていて、その後のチャートと違って出てはいますが、これはチャートは見なくてもいいです。

はっきり言ってあんまりそういう細かいことにこだわらなくてもできるようになっています。

これはですね、簡単で入れるところがあって、そこにいれるべき数字を打ち込んでいってこの答えが帰ってくるんですけど、その答えを見て自分がどうするかというのは決めればいいのか、かなり単純になっているものです。

元々なんでこれを作ろうかと

思ったかというところですね、

証券会社でもこうしたツールを提供しているところは当然あるんですけども、これ自体はですね、すごくこのツール自体にはかなり複雑な計算式が入っています。

私もツールを作る時に開発をする人が
本当にちゃんとやってくれるのかなっていうのを
不安に思いながら頼んだら、意外にちゃんとやってくれたので、
とてもうまく出来上がったものでもあるんですけども。

すごく普通に計算機でパッパッパッと
できるようなものではない複雑な計算式が
この中に入っています。

証券会社とかで提供しているものというのは、
更に高度にいろんなことがいっぱいできるような
機能がありとあらゆるものがついているんです。

それはそれで提供する側としては、
ここまでできるぞというか、これでもかみたいな、
パフォーマンスの部分にはなるとは思うんですけども。

実際にそんなに複雑なことを
ものすごい装置をかけてやろうとする、
必要がない状態にしたい、勝ったということもあって
必要なものだけを抽出して、そして、
使いやすいように作ったという、
結局そういうものなんです。

実際どういうふうやってきたかと言うと、
まずこんな風にですね、何を選ぶかというものを
選ぶのを、ここでタグが付いているのを
そのまま選んでいきます。

そして、自分がもし今日取引をしようと思えば
今日 2022 年 7 月 22 ですけども、これもカレンダーの中に
入れてあるので自分でこうやって選んで入れます。

次にやはり同じようにですね、
銘柄をどれにするかなーっていうことを
考えるわけですが、
過去のだと今からトレードするには
不向きなので書き換えませんが、
今日の日経平均株価が、昨日日銀の黒田総裁の
会見なんかもあった後で何だか知らない妙な
リスクオンムードが流れた中のマーケットなので、

今は大体27800円くらいですね、市場にでます。

そして自分が狙うものが大体
どの辺にあるのかなというのを
この中にこの数字で入れていきます。

これも決まったものがあるので入れていきます。
そうすると、ここに計算結果が出てきて
こういう風になってますよっていうのが出てくるんですね。

だから、これとっても簡単に
数字の計算が出てきました。
それを見て自分がどうするかというふうなのを
決めればいいだけ、という風になっているんです。

なので、もし自分が値段が出てきた結果を見て、
もうちょっとこういう風にしたいとかって
思った時にはどうなるかといえば、
これもまたちょっと違うな、といって
こうやって入れ替えていけばその答えが
すぐに出てくるので、その答えに基づいて
自分がやって行けばいいという、
結構本当になんとシンプルという、
そういうものになります。

このツールのいいところはですね、
この計算結果が入れて返って
シンプルに出てきて返ってくる、
それをどうすればいいかという
行動をする部分は決まっているので、
それに向かって行動していくんですけども。

何がいいかというとはですね、
今日これから先自分がどうするか、
もしくは、今日は7月22日ですけども、
もうちょっと先の事を自分が
シミュレーションをしてみようと思いますよね。

8月15日あたりに自分はどうすればいいかという、
その先のシミュレーションっていうのが
できるようになるんです。

これも同じようにやると、
こうやって答えが出てくるので、
先の時に自分が計画をするにあたって
ここで計算をして、そして、
この時こうなったらこうしようっていう風な、
この先のことを考えるということが
できるのがその1ですよね。

更にその先には、過去のことも
こんなだったんだなっていうことを
見ることもできます。

例えば、なぜ過去のことが必要なのかというと、
この先の過去こういう風になった時には
こうだったんだなっていうことを見ると
この先自分が同じようなことが起こった時に
どうすればいいのか、どんな感じで向かいあえばいいのか、
もしくは値動きがどんなだったのかというのは
計算すればすぐ出てくるんです。

ところが、こうした自分でシミュレーションを
していくということが、結構立派なツールは
意外にできそうでできなかったり、
簡単にできそうでできなかったりっていうのもあるし、
あとは結局こうやって私が今日やる場合には、
明日やる場合には、もしくは1か月後にやる場合にはとか、
あと2年前がどうだったかとかいう話をしましたけれども。

そういう自分がこのトレードしていく際の
物差しとして使っていくことができるんです。

物差しがあることによって相手にしているマーケット自体は
かなり説明するのには簡単な話あるんですが、
とにかく宇宙状態にあるような感じをイメージしてください。

その中で藁をもすがるような感じで自分が、
その中でどういう風に取り組んでいったら
いいのかっていうのを探さなきゃいけないものを
相手にしているので。

この自分の物差しがあると、
すぐにやるのがシンプルにわかってしまうという、

それがとってもいい計算ツールの特長になります。

実際これを使っていただいた方はですね、
私が説明するのもそうなんですけど、
いろいろ説明する中でこのツールがあるから
とても理解も深まって、トレードに取り組むのも
早くなるとう取り組むまでの時間も早くなるという、
そういうメリットもどうやらあるようです。

以上がツールの説明になります。

ツールについて解説をしていきたいと思います。

ツールに表示される数字というのは、
ある一定のルールに基づいて算出されているものです。

これはずっと未来永劫変わりなく
使い続けることができるツールになります。

どのものをトレードすればいいのか、
数字をどういう風に入れればいいのか
というようなことも表示されていきます。

ツールのみで勝てますか、なのですが、
勝てます。

市場はですね、このマーケットは
このツールがあるから勝てるわけですし、
できるということでもあるんです。

もちろんホップステップジャンプ状態になっていますから、
一番簡単なものではさほどそのツールがなくても
できるくらいのものであればあるんですが。

実際には奥深く、要するに
揺れを余すところなくとっていかうとすると、
このツールというものが必須になります。

実際にこれで勝ってきていますし、
自分もツールがあることでうまくいっているわけですし、
何よりもこのツールがあるから、
楽に何も考えずにできているということですよね。

算出される数字の根拠ですけれども、
これは知らなくていいです。

ただこの根拠自体はですね、
しっかりしたこのマーケットを相手にしていく為の
一番の根本にあるこのマーケットができる元になった
一番のものがそのツールの中には入れ込んであるのです。

なので、それがどうなっているのか、
それが何なのかっていう研究をする必要は全くなくて、
ただそれがあることでいろいろな、
自分がどこに何を入れるっていうのがわかるとか、
今いくらになればいいのかとか、そういうシミュレーションすらも
できるとかっていう意味で、このツールを頼りに
それを上下に物差しを使いながら
やっていくことができるというものになります。

これはあるかないかだけの話です。

究極一番シンプルな方法でなくてもできるんですが、
あると簡単に楽に揺れを全面的にとっていくことが
できるというものになりますから、
あとは自分がそれを使ってやるかやらないか、
それだけということになります。

実際どのくらいチャンスが訪れるのかですが
実際のマーケットに沿って見ていきたいと思います。

では実際に相手にしているマーケットが
どれだけ凄まじいものなのかという、
その例をを皆さんにお見せしていきたいと思います。

例えばトランプが就任して大統領になった時の
話でしましたけれども、なったあともう一般競争も
就任も終わったあと、2017年の3月から4月に
かけてもなのですが、この時っていうのは
別に特に大きな話題があったわけではないんです。

ただ、トランプ政権が就任したはいいけれども、
1月に就任しました。
でもなんだかその中で人が辞めたりとか、

いろんなゴタゴタがあって、その度にマーケットは
アレアレという感じで
ふれているということなんです。

その間の、例えば3月末から4月の
このところまでを見るとですね、
横軸、単純に50と書いているのは
50円というもののなのです。

この50円だったものが
いきなり2倍の100円になりました。

あらっと言ったらまた50円に戻りました。
また今度2倍になって125円を超えました。
また59円に近づいてきました。

そう思ったら今度は、ボボーンと
今度4倍近くになって上がりました。
また75円、80円くらいまで下がりました。
そしたら今度またその80円が、
今度は200数十円という値段に上がりました。

そして、また下がってもう1回50円になって、
そして、また今度は125円という
2倍以上になってというような動きをしています。

これはわかるようにですね、
同じものが特にそんな話題としてはなくて、
例えばTPPをどうするかという
離脱をするぞしないぞみたいな、
そういう話があったというだけの話で、
みんなどうなんだろうというだけで
これだけ上に行ったり、下に行ったり
動くということなのです。

だから如何にこの2倍とかで4倍というチャンスが
大した事なさそうなことでも起こるかという、
これで何かわかっていただけるんじゃないかなと思います。

その後、今度はそういう揺れがあったあとは、
どうなったかなのですが、何だかこれは今度は
落ち着いてきて、その後の話なんですけれども、

いきなり値で言うと、やっぱりこれ50円もしてたかなどうかなというところなんです、これは日足で見えていますけれども、パパッと上がって行って、何とですね、600円も超えて上がっているという、軽く10倍以上になっているという、数日の間ですよねっていうことになります。

でもこれだけ簡単に数日の間で動いてしまうというそういうものなのです。

その前のやつもそうですけれども、1日の間で2倍になったり、半分になったり、4倍になったり、というようなことが訪れているというのがわかると思います。

だからチャンスというのはかなりいっぱいあるかなということなのです。

今度は、これは2017年の時のチャートですけれども、この時ですね、30円とか近くだったものがいきなり280円ですから、これも10倍くらいまでばばば一っと上がっていますが、これもですね、なんと1日を挟んで週を開けただけで、週を開けたらいきなり自分の持っていたものが10倍になったという例になるんですけど。

これは何があったかという、週末に北朝鮮が核ミサイルをどうやら何かグアム方面に飛ばす、なんかミサイル攻撃するみたいなそのニュースが出て、それを受けてブワって上がったということなのです。

こうしたことで、それに対してトランプが口で応戦して、そしたら自分の持ってたものが10倍になっちゃったというこういうことです。

だから、何だか自分が持っているものがいつこんな風にバーンと儲かることになるかというのはわからない、そのくらいチャンスがいっぱい転がっているものなのです。

比較して考えると、テスラ社の株価なんですけれども、これはコロナの時に、いわゆるコロナ相場の中の
大ヒットした会社です。

コロナがあった2020年の3月の前までの
テスラの高値って200ドルくらいあって、
コロナで100ドルわれるところまで
1回下がっているんですけども。
70ドル台くらいまであったのかな、
でもその後すごい勢いで上がってますよね。

このコロナ相場第1弾でまず2020年の秋に向けて
上がって一旦下がって、2021年更にもう1回上がって、
そして2022年に向ける前の2021年の
秋ですけども。

これは、とにかくアメリカの株がどれも
史上最高値で売ってる時ですが、
このテスラをはじめとした新しいものであったり、
GAFAMみたいなものが軒並み全部歴史的な高値を付けて
アメリカの株も上がった時ですけども。

こんなふうになっています。

でもよく考えてみると、確かに大ヒットした
このテスラですが、よくよく考えると確かに
15倍とかにはなっていますが、
2年とかかなりこの特殊な相場で、
はじめてそうなっているということを考えると
如何にこのVガンマが相手にしているマーケットでの
この値動きが凄まじいものだというのがわかると思います。

ですから、この普通の株で大ヒットして
すごいという特殊な状況でこんなにすごいというものが、
言うなれば毎日のように、というか月の中でも
そういうことが訪れるようなチャンスが
いっぱい転がっているというものなんです。

だから全然普通にいい株を頑張って選んで、
そして買っていく、時間をかけて待つというものとは
全然違うアプローチをしなければいけないし、
且つそういうチャンスもいっぱいあるマーケットだというのが

逆にわかるんじゃないかなと思います。

例えばこの1日の間でもこれもこんな風に
15円だったものが60円近くまで
1日を挟んであったという話になりますが、
これも2017年8月の時の話です。

その後、また今度8円ぐらいだったものが
今度55円くらい、10円切っていたものが
5倍くらいになっているというような感じになります。

この時何があったかなって考えると
値動きが激しすぎてほんのちょっとしたことにも
反応するという事なんです、振り返ってみるとですね、
中国が仮想通貨について暗号資産ですよ、
それについての規制をかけたというその時の動きなんです。

それだけでこんな風に動いているということ
考えると如何にふとしたニュースでこれだけのものが
ガンガン動いてくるかっていうのがよくわかると思います。

これなんかも80円くらいだったものが
これは2018年次の年の話ですけど、
一気に上がっていますが、これは別に特に
何があったというわけじゃないんです。

何だかとにかくトランプイケイケ相場になったな、
すごい株がいい方向にガンと上がったな
という以外は何のものもないです。

でもこれだけ一気に大きく動いてくるんですよ。

だから、これいつ動くのか、
何がきっかけなのかはわからないけれども
まあまあとにかく意外とちよくちよく来る
ということですよ。

これが他のオーソドックな
マーケットのものとは全然違って、
今まで取り組んだ受講生でも1回で
あら100倍になっちゃったっていう人が
いるっていうのは、まさにそうなんです。

しかもそれが損失が限定という風に言いましたけど、
本当にそうで、自分は今これ以上損しないというところから
スタートして上を狙っていくということになりますから、
すごくやりやすい人には本当にやりやすし、
楽しみというかそういうのもあるかなと思います。

もっともっと例を出せばきりがないので
なんだかめんどくさい感じもしますが、
もうちょっと見ていただければですね。

例えば、今度は2018年の1月の話ですけれども、
これなんかもすごく儲かった人がいた時の話ですが、
やっぱり15円とかになったものが
90円まで上がってますので、一気にすごく儲かってますし、
それよりも以前に何度も同じものでも
20円から50に円になって1回利食って、
もう1回利食ってみたいの、何回も同じもので
回っていくというようなこともできたりしています。

これだけ見ると、これだけでもあるかなと思うんですが、
なんとなんです、この後にどうなったかという
ジャンという感じなんです、
なんとこのところこのところ何ですよ。

その後これはどうなったかというんです、
70倍に1400円くらいまでに上がっている、
一気にこれもすごい儲かったという感じなんです、
この時もですね、ニュースとしてどうだったか。

米中の貿易関税のゴタゴタがあって、
要は結局その地殻変動の部分で揺れているものがある、
その揺れの中からポーンという時が訪れるという、
そういう感じになってるんですよ。

だから、あとは政府閉鎖があるということで
議会でも揉めてた時もありますが、
結局こんな風ですね、さっきのこの短い中でも
こんなに回るのに、更にそれがこんなこと
なっちゃってっていうことが実際にあるという、
なかなか何とも、なんともな感じのものです。

ちなみにすごい勢いで上がった時っていうのは
ニュースの話も当然そうなんですけれども、
もう1つ金融マーケットの中における異変というか、
そういうものも手伝っていたところがあって、
それは何かというと暗号資産。

それを代表するこのBTCの動きなのですが、
この前の年にまず先物市場が出来て、そして、
1万7000ドルという、歴史的な1万9000ドルですね、
歴史的な高値をつけた後、年が明けてからなんです。

その時の年が明けてからは
1万9000ドル台にはいかなくて
1万7000ドル台までつけたんですが、
その後ですね、どんどん下がって行って
この1月の17日までの間に1万ドルも
BTC割ってきてるんですよ。

結局こうした金融マーケット全体における
揺れの部分というのがニュースとしてあったのは、
米中の話とか政府の閉鎖の話というのがありましたが、
それ以外に起きていることでこんなにすごい動きに
繋がっているということになります。

この時はちょうど日本だとネムの流出の
話なんかもあったということも手伝っているかも知れませんが、
こうした金融マーケット自体に何か起こる
異変みたいなことが、すごくマーケットに
大きな音影響を及ぼすということ。

これはまさにこの先の近い将来にも
起こりうる十分に起こりうる状況だということを考えると、
待ってはいられないという感じというか、
すぐにでもで取り組んでくれたらいいなと
思う理由でもあるんです。

コロナショックの時がどうだったかなのですが、
コロナショックの時の値動きまだ本格的になる前の頃の
値動き動きですけれども、ですからこれは
2020年の2月の時のものですが、
やっぱり50円くらいだったものが700円近くまで
上がっていますから、本格的な3月の酷いものが

訪れる前にこの状態です。

当然だからもうこれで500倍、600倍という風になっちゃったという、結果的になっちゃった、儲けることができたということもあります。

ですから、こんな風にほんのちょっとしたことで大きく揺れるし、大きなことがあった時には更にこんな凄いことが起こり得るということなんです。

直近2022年はどうかというとやっぱりですね、特に何かあったわけではないんですが、6月末とか7月の頭くらいなんですけれども、やっぱり35円だったものが220円になってみたり、とにかく35円だったものが145円になるというだけで4倍以上に上がってますし、その後いったん下がったもののまた2倍くらい以上に上がってますし、という恐ろしい動き方をしていますよね。

その後もどうかというところの20円くらいだったものが200円台を超えてきてという感じで、やっぱり10倍くらいになっていてということです。

特にこの間に何かあったかと言われると、特に大きな話は無いんですが、やっぱりマーケットが今その地殻変動の中でゆるゆるの状態が起きているので、ふとしたことでもこんな風に動いてしまうという状況になっています。

手法が将来的に使えなくなる可能性はあるのか、ということにされる方いらっしゃるかも知れませんが、それは全くありません。

なぜかというんですね、まずこの手法に関してはそもそもこのマーケット、この巨大なマーケットができる根本になっている思想というか、その根本のところをがっちり押さえている、原理原則に則ってやろうとしているからということなんです。

だから廃れるとかなんとかっていうよりもこのマーケットがなくなったら使えないかも知れませんが、

ですが、このマーケットがなくなるということは

まず考えられないんです。

ありとあらゆる金融マーケットの様々な、
皆さんが持っている、ひょっとしたら投資信託の1つであったり、
全然投資信託持っていないくても、自分が関わりを持っている
年金の資金の運用なんかもそうですが、
そこにも深く関わりを持っているとか使われているものなので、
それ自体がなくなるということは、人類自体が
この世に存在していたら、古代社会に戻るって言う時以外あり得ません。

ということはこのマーケットが
なくなってしまうということ以外は、
みんなで裸でまた石器を持って動物を追って
生活するという氷河期時代に戻るのだったら別ですけども、
少なくともそういうことがない限り、
まずなくなるということはないです。

逆に言うとこれがなくなるぐらいだったら
もっとなくなっているものがたくさん出てきた後、
最後になくなるかもしれませんが、
まずこれがなくなるということはないです。

これはアメリカでは割とメジャーで
使われているものなんですよ。

リーマンショックの時に大きく儲けた
投資家がいるということでも有名にもなりましたが、
今で言う暗号資産のようなバブルではなくて、
これはもうガチリとありとあらゆる人の生活、
金融マーケットにもう組み込まれてしまっているので、
ずっと使える方法であるということはもちろんですし。

この暴落とか暴騰とか、要するにネガティブであっても
ポジティブであっても、とにかく何か起こる時、そして、
なんといっても今のように地盤が緩んだ状態になっている
時というのは、ほんのちょっとしたことでも
さっきまで見てきたように、ほんのちょっとしたこと、
何が特に起きていくことではない時でも
あんな風に簡単に揺れてしまうくらいの状態になるということは、
凄くこれから先はこの揺れの部分のチャンスというのが
もっともっと増えてくるということにもなるので、
一度これを使って、そして、できるようになれば

一生モノのスキルになります。

常に何かショックが来た時にもそれが怯えの対象ではなく、
自分が逃げるといふ、対象ではなく、
それを積極的に自分にとって生かしていく
チャンスになるという危機を、大きな自分のチャンスに
変えていけるといふ、そういうものによっていくという
自分自身がチェンジするといふ、
そういう機会にきっかけになります。

投資を始めたほうがいい理由ですが、
もうこれはいっぱいありますよね。

しかも政府が推奨して貯蓄から投資へと促しているくらいですから
みんなやれよっていう風に後押しをされているんですが、
投資をするまでもなくですね、貧富の格差がここまで
どんどん広がってきていると、自分の身をとにかく
自分で守ることを考えなきゃいけないですよ。

その貧富の格差が広がっていく中で思うのは、
お給料を増やせとか、これもまたなぜか民間企業に対して
政府が言うっておかしな状態になっているくらい
日本は今劣化していると思うんですが。

劣化といえばですね、安定志向を求める人というのは
公務員が凄くいいということで、若者でも昔に比べると
公務員を目指す人が増えているようですが、
公務員の中でも非正規の人というのが実は増えていて、
安定してるはずなどに何か安定してないらしいんですよ。

その人達の中で悲惨な話を聞くことがあったんですが、
額面でお給料が19万円とかそのくらいらしいんですが、
手取りにすると、いろいろなこの社会保険料とか
いっぱいひかれると9万円とかになっちゃうって言うんですよ。

考えてみれば私をはじめ初任給を
貰った頃というのは、大体そのくらいが
額面だったなっていう記憶があります。

ですが、手取り9万円になったという
記憶がないんですよ。

ということは、それだけ強制的に引かれる
社会保障だったり、税金だったりというものが
ものすごく増えているということですよね。

しかも消費をすれば、消費税でどんどん
税金はとられているわけですから、
なかなか給料を少々高くしたところで
豊かになるかと言われると、ちょっと違うぞ
という感じになってますよね。

でも一方で投資に成功している人というのは、
大きくお金が残っていて、1回お金ができてしまうと
このVガンマの例でもわかるようですね、
更にどんどん倍的に増えていってしまうとか、
雪だるま式に増えてしまうというようなところが
資本というかお金というのはあるんですよね、不思議なことに。

昔のピケティの話じゃないですけども、
戦争とかそういう何か富裕層を破壊するような、
本当のその物理的な破壊でもない限り、お金を持ってしまおうと
お金がお金を生む世界の中ではどんどんそっちの速度の方が
速いから増えてしまうというのがあって、現実そうです。

ですから、投資をするということは
それを自分がその、なんていうんですかね、
種というか、ものを手に入れるチャンスでもあるわけですから、
当然昔よりも、よりその重要性というものが
高まってきていると思います。

まず自分でそれを手にしなきゃいけないということですよね、
とにかく自分で自分の身を守らないとどんどん剥ぎ取られるだけ
剥ぎ取られていくという状況になってしまいます。

この私がやっている投資手法の中で考えるのがですね、
とにかく孫子の兵法の中に出てくる兵は大魚を尊ぶとありますが、
やったほうが良いという意味でこの言葉を
使うということもできるんですけども。

孫子の兵法の中に凄く重要なことはですね、
いかに戦わずして勝つかということだと思ってるんですよね。

これは効率性を挙げたものを使うということで

成功法で正しいものを使うということが、
結局その労力を経して勝つという、労力を経して要するに、
生産性を上げてお金を残していくかということに
使うということになっていて、そして、
その兵は国の基なると言いますがけれども、そうしたことを考えた時に
自分のその資本というのには限りがあるわけですから。

例えば、これ今流行ってるからとか、
目先の暗号資産もすごく流行って上がりましたがけれども、
今またすごく下がってますが、上がっているからそれに
一緒に飛び乗って お祭りのようにパーティーですよ、
参加したらいいことあるかっていうと、あつという間に
祭の後というのがやってくるんです。

祭りの後ほどむなしく寂しいことはなくて、
しかも自分のその懐が更に寂しいことになっていたら
目も当てられない状態になっています。

ですから、やったほうがいいのは投資というものに
踏み込み出した方がいいのは事実ですが、
やり方を間違えないこと、やる方法間違えないことが
すごく重要で、その為にはこうした正しい手法、
原理原則に則った手法、いつまでも使い続けられる手法、
1度自分のスキルとして身につけてしまえばずっと使えるもの
というもので戦い続けないと、結局寂しいパーティーが
終わった後の人になってしまいます。

そうではなくて、1度自分が手にした種を
どんどん大きく膨らませる、
そこからその芽が出て、葉になって花が咲いていく
という状態になっていくということをしなればいけなくて。

その為にはこうしたまともな方法でずっとで
戦い続けるというのが必要で、当然そうすることによって、
組織とかね、とにかく何かに頼らなければいけないとか、
もしくは自分のその業界が無くなっちゃうから
それが無くならないように政治運動しなきゃとかね。

そういうふうにならずに、様はもうこの先国家というものは
当てにして乗らないというふうぐらいに
考えた方がいいわけです。

ということは、国家に翻弄される人ではなく、
自分1人でも生きれるぐらいの人にまずなっておく
ということが重要で、本来そういう人がいっぱいあれば
それが強い国家になるんですけど、どうもそうではないという、
そのところが悲しいところですね。

政治運動の話をしましたけれども、考えてみれば
有力な政治家と言われる人たちというのは気がつけば
2世3世ばかりになってますよね。

特に3世の政治家も活躍する者になってますけど、
それ以外の方が有力な政治家になれないということ自体、
国家として衰退を歩んでいるという風に考えるべきですよ。

新しい人がそういう風になれないのかな、
3世とかが多くなるのは何でなのかなと言うと、
結局、負の部分の分配をするというのがこの先の政治の世界だから、
要は有望な人はあまり、わざわざそういう世界には
踏み込まないということなんです。

悲しい現実です。

では、そういう家に稼業として生まれなかった人間なら、
じゃあどうするかといえばですね、とにかく一人で
国家に頼らなくても生きていけるだけの力を持てば
いいわけで、そのためのなにより強いツールになるというのは、
投資でちゃんとお金を儲けることができるようになるかどうかです。

結局はですね、その正しい投資方法を知ってるか知っていないか、
これによって大きく自分の人生が変わっていくということです。

とにかく今後は、すごく多分、
時間軸は分かりませんが、
ひょっとすると何百年単位、日本の場合は要するに
明治以降のすべてのシステムが、ひょっとしたらチェンジしていく、
変わらざるを得ないぐらいの状況に追い込まれるぐらいの、
今、瀬戸際に立っている可能性は結構高いです。

なので、その中でも生き抜くためにはですよ、
とにかくマーケットはなくなるしないし、
そのマーケットからお金を取ってくるということが
出来続けさえしていればですね、まあなんとか生きてはいけますよね。

当然これはもう今のマーケットというのは、
もうどこに行っても、別に東京とかね、
都会に住んでいなくても、田舎に住んでいても
アクセスができる状況にもなっていますから、
片方で農業をやりながら、片方では自分の食べ物を確保しながら、
ちゃんといざという時の為のお金というの
マーケットから取ってくるという、
そういうスタイルの生活も当然可能にはなるわけですから、
投資を知ってるか知ってないかというだけで自分の生き方、
その人生というものが大きく変わってきます。

ですから、一時的なバブルに乗っかる、一時的にあたるものを探す、
これも確かに一つの方法ではありますが、
それではずっと生き抜くということはできませんよね。

一回だけで一生分くらい稼だしてしまえば、
まあそれもいいかもしれませんが、まあそれは簡単な話ではないですし、
ましてテスラの大相場のようなものが、これだけビンライマーが
相手にしているものであれば、頻繁に起こるということを考えると
チャンスがいっぱいあるわけですから、
これは知ることの重要性、やることの重要性は
わかっていただけじゃないかと思います。

Vガンマで身につけると何が変わるのといえ
もう今まさにお話ししてきたようなことで、
本当に相場からお金を取ってこれるぞ、
自分の資金はどんどん増えるぞという事ですし、
まあ何もないときにもふとしたことでマーケットが
動きやすい状況になっているというのは、
チャンスとしてはいい、今はとても良いタイミングから
始めるということにもなりますし、もっといいのはですね、
その相場観とかね、そういうものがなくても
今日は身近な、自分の知ってるニュースの流れてくるものだけで、
マーケットの複雑なことを知らなくても、
なんかいい事起こりそうとか悪いこと起こりそうっていうのは
なんとなく皮膚感覚でわかる話ですよ。

要はそういう普通の人間の本能で持っている感性というか、
常識、要するに、そういうものだけでも十分に
戦うことができるという、これが何よりもいいですよ。

そして、こういう選択肢がないとどうなるかという、
やっぱりね、株はどこかい、あの場面で仕込むとかね、
為替の相場観のことをある程度磨くとか、
テクニカル勉強するとかっていう、そういう方法はもちろんあります。

ただ、それにはすごく修練も必要ですし、
センスも必要、という事ですよ。

もっと言うのですね、コロナの時もそうなんですけど、
本当のいい株を仕込めるようなものって、
いいタイミングってそう簡単にはないんですよ。

私はそれこそあの頃は、まあこのVガンマも当然そうなんですけれど、
なかなかのいいチャンスなので、現物のあのアメリカの株も
いっぱい仕込みました。

それはやっぱり大きな仕込み時だったんですけど、
いつも仕込めるかという、そんなすごいショックがあるときしか
やっぱり大きな仕込みってないですよ。

そういうことはタイミングを計るのは難しい、
だけど今日も明日も明後日も生きていかなきゃいけないで、
凧のような普通の時も生きていかなきゃいけないということを
考えるといつでも始められる、いつでもチャンスがいっぱいある
という意味では、全く他の投資をしていくというものとは
違うものになります。

ですから、見つけると何が変わるのと言われると
まったく変わった別世界が見れるということに
なるかなと思っています。

さて、次回の予告ですけれども、
このロジックの肝となる、Vガンマが対象としている
取引市場について、まあチャートも見てきましたけれども、
その取引市場について、ついにま公開していきます。

さて、コメント特定ありますので、
今回もコメント欄にコメントを入れてください

そして、今後もLINE@読者様限定で

この動画内では言えない情報も公開してまいりますので、
ぜひ LINE@の方も登録をしてください。

今回も動画最後までご覧いただきましてありがとうございました。